

彼女は谷川俊太郎さんの「朝のリレー」が好きだと言う。

カムチャツカの若者がきりんの夢を見ているとき
メキシコの娘は 朝もやの中でバスを待っている――

からはじまる素敵な詩だ。

彼女は、「“朝起きは三文の徳”は本当なのか」と聞かれ、「私は徳だと思う」と答えた。彼はその後「目覚ましをかけても起きれなかった」と言ったそうだが今も夜型なのだろうか。彼女は夜もいいけれど、朝がよいようだ。

彼女は言う、
世界中でコロナウィルスの感染が増え、大変な時代を迎えている。
テレビや新聞でコロナウィルスを取り扱わない日はない。
外で会う人たちは皆マスクをして歩いているし、私も外出時はマスクを着用している。と。

そんな日々でも変わらずに朝がやって来る。彼女はあさひが昇る前に起き、仕事へ出掛けるまでの間、朝の準備にたっぷり時間をかける。というか「かける必要がある」のだ。何故ならいつでも彼女の可愛い猫達が、ついてきているからだ。

幸いコロナに感染せずに済んでいる彼女は、この猫達との時間が一層大切なものとなっているようだ。

2020年12月3日